

丹波篠山 事業構想

プロジェクト研究

参加者
募集

デジタル技術の革新や地域環境の変化など社会が大きく変容するなか、今後の社会を見据え、自社の経営資源を活用した新たな価値創造が求められます。
新たな価値創造をしながら、自社の事業構想を目指す方のご応募をお待ちしております。

プロジェクト期間 全11回、実施期間：2023年10月～2024年3月 各回半日程度

募集人数 10名程度

※募集人数を超えるお申込みがあった場合には、選考とさせていただきます。
※選考の結果は9月30日（土）までにご連絡いたします。

研究参加費 無料 ※交通費、宿泊費等は研究員もしくは所属企業負担となります。


会場 丹波篠山市民センター、丹波篠山市役所
事業構想大学院大学 大阪校など
オンライン参加も可能です

申込締切

9月26日(火)

対象 ● 自社の経営資源や自身の技術を再定義し、新規事業を創出したい方
● 新分野展開や、新たな収益の仕組みづくりを検討している企業等
● デジタル技術等を活かし、新たな価値創造をしたい方
● 今後、社内の中核となっていく幹部候補の方
● 丹波篠山市域の地域資源を活かし、新事業の創出を目指す企業等 など

※業種や企業規模・年齢は問いません。個人事業主も可能です。
※研究期間を通して9割以上の日程に出席できる方が参加可能です。

主催  丹波篠山市（共催：学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学）

説明会開催


下記の日程にて、説明会を開催します。
本プログラムの特徴や、概要、申込方法などについて、ご紹介いたします。

- 9月15日（金）13:00～14:00 / 16:00～17:00 @丹波篠山市役所 第2庁舎 2-301、302 会議室
- 9月19日（火）13:00～14:00 @オンライン
- 9月20日（水）17:00～18:00 @オンライン

お申し込みはこちらから



本プログラムに関する
お問い合わせ先

 学校法人 先端教育機構
事業構想大学院大学 事業構想研究所

「丹波篠山 事業構想プロジェクト研究」担当
TEL: 06-6372-8411 E-mail: pjlab@mpd.ac.jp

丹波篠山 事業構想

プロジェクト研究

参加者
募集



Message



酒井 隆明 市長

今や丹波篠山市は、全国でも注目されるまちになってきました。京阪神から比較的近い距離にありながら、農都、美しい町並みと景観、自然や文化に恵まれ、おしゃれなまちとして人気上昇中です。観光客は目に見えて増えていますし、コロナの影響もあって、田園回帰、農村回帰の流れが生まれ、自然のなかで子育てしたい方、起業に関心のある若い方などの移住希望や実際の移住者が大変多くなっています。

この丹波篠山の様々な魅力を勘案し、産官学と地域の共創による地域経済の活性化に向けて、中心的な役割を担う人材の育成を進めます。企業や組織にとどまらず、それぞれのフィールドで新規事業の創出につながるよう、事業構想大学院大学と連携して「丹波篠山事業構想プロジェクト研究」を立ち上げます。丹波篠山市の未来を創る皆様のご応募をお待ちしています。

What to Do



持続可能な経営のためには、新事業の創出やビジネスモデルの変革が不可欠となっています。デジタル技術の革新や地域環境の変化など社会が大きく変容するなか、今後の社会を見据え、自社の経営資源を活用した新たな価値創造が求められます。

丹波篠山 事業構想プロジェクト研究では、

- 自社の課題を再発見し、経営資源を活かした、社会に価値を提供する自社の事業構想を構築します。
- デジタル技術、コミュニティ構築等の実務家教員の講義から、事業構想の気づきを得て、社会変化を洞察し新たな価値を創造します。
- 丹波篠山市域の地域資源や課題を発見し、社会の理想形を構想し、その実現に必要な事業構想に参加する研究員同士で議論し発想を広げます。
- 異業種の企業やパートナーとの知の共有・探索や、コラボレーションによる事業創出活動を実現します。
- 6ヶ月間（2023年10月～2024年3月）の研究会を通じて気づける素養を磨き、価値創造を担う人材を育成します。

事業構想計画書

参加者は、プロジェクト研究や大学院カリキュラムを活かした構成で、定例研究会を中心に個別指導を受けながら、各研究員が自社の事業構想計画を策定します。

多彩な人的 ネットワーク構築を 支援

必要に応じてゲスト講師をプロジェクト研究に招聘し、新事業創出に必要なインプットを行います。また、年間約40回、事業構想大学院大学院生を対象に行っている、多様な分野のスペシャリストをお招きした事業構想スピーチにも参加可能です。さらに、事業構想大学院大学の教授陣による個別フィードバックや、研究員同士が議論を重ねる中で、外部の専門的な視点を取り入れながら、各自の事業構想計画をブラッシュアップすることができます。

「研究員」としての 資格を付与

参加者には、事業構想大学院大学 事業構想研究所の「研究員」としての資格を付与します。社会的に中立な研究員という立場として、ヒアリングやフィールドリサーチを行い、ネットワークを構築することができます。また、担当教員や本学教員への個別相談をはじめ、図書館、電子書籍、オンラインデータベースの利活用、アーカイブ視聴、メディア利活用等、研究から事業構想計画に必要な環境を利用することができます。

メディア プロモーション支援

優れた成果は月刊事業構想をはじめメディアへ掲載し、プロモーションを支援します。

担当教員



あおやま ただやす
青山 忠靖

事業構想大学院大学 特任教授

Profile

地域デザインによる地域創成事業支援を専門とする。1978年3月日本大学芸術学部放送学科卒業、同年4月株式会社博報堂に入社し17年間勤務。1995年に博報堂の協働機関を起業、セールスプロモーション、PR制作、雑誌編集/執筆等に携わる。2006年以降、外資・国内コンサルティング企業3社を経て、2016年より現職。2012年には一般社団法人地域デザイン学会の立ち上げに参画する。
LEC 東京リーガルマインド大学 キャリア開発学部 非常勤講師「メディア社会論」（2004年～2007年）専修大学商学部 地域デザイン学会寄附講座「地域と食文化」を担当（2016年）
2013年以降、父祖縁の地である兵庫県出身の大学生を支援するために、東京代々木で学生寮「尚志館」の経営にも従事している。

ゲスト講師



わたなべ のぶひこ

渡邊 信彦 事業構想大学院大学 教授

大手 Sier にて金融機関のデジタル戦略を担当、2006年執行役員、2011年オープンイノベーション研究所所長を歴任。その後、起業イジツトを経て、Psychic VR Lab の設立に参画。2017年2月取締役 COO。2015年度より事業構想大学院大学の教員を務めるほか、各地の地域創生プロジェクトにも参画。



かしの たかひと

梶野 孝人 事業構想大学院大学 客員教授

大学卒業後、株式会社リクルードに入社。人材開発部、キャンパスマガジン編集長を経て、福岡ドーム（現 PayPay ドーム）に転向し、マイケルジャクソンなどのコンサートやプロ野球アジア太平洋カップ、シルクドレレイユ福岡公演などをプロデュース。2000年に株式会社アイ・エム・ジェイの代表取締役社長に就任し株式上市。国内最大手の web インテグレーション企業グループ 25 社を経営。映画製作も手がけ、「NANA」「ろうに剣心」などのヒット映画も製作。

本プログラムに関する
お問い合わせ先



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所

「丹波篠山 事業構想プロジェクト研究」担当
TEL: 03-6278-9031 E-mail: pjlab@mpd.ac.jp

